令和８年第５回田原市教育委員会定例会

１　開会　令和８年５月２２日　午後１時３０分

２　閉会　令和８年５月２２日　午後２時４３分

３　会議に出席した委員

教育長	伊藤　正徳
職務代理者	田中　智和
委員	田中　早苗
委員	髙崎　佐智江
委員	山本　哲男

４　会議に欠席した委員

なし

５　会議に出席した職員

教育部次長兼教育総務課長	山田　正勝
教育部次長兼図書館長	是住　久美子
学校教育課長	鈴木　和美
生涯学習課長	小久保　高
スポーツ課長代理（スポーツ課長補佐兼アジア大会係長）	横田　浩一
文化財課長	天野　敏規
生涯学習課主幹	加持　廣則
教育総務課長補佐兼係長	大久保　加奈子

６　議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第５回定例会議事日程

日　時　令和８年５月２２日（金）
午後１時３０分
場　所　市役所北庁舎３階　３０２会議室

１ 会議録署名者の指名

２ 教育長報告事項

３ 議案
（１）議案第１５号　市議会提出案件（田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例）に対する意見について

４ 報告事項
（１）教育委員連絡報告事項
（２）大草小学校・神戸小学校統合準備委員会について
（３）第２０回アジア競技大会（２０２６／愛知・名古屋）について
（４）小学校への寄附について

５ その他

開　　会　　午後１時30分

教育長

本日は、何かと御多用のところ、御出席いただきまして誠にありがとうございます。ただいまの出席者は５名であります。定足数に達しておりますので、令和８年田原市教育委員会第５回定例会は成立をいたしました。

これより開会をいたします。

教育長

それでは、会議規則第１３条第２項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、髙崎委員と山本委員、御両名を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

教育長

それでは、開会に先立ちまして、本日、部長とスポーツ課長ですが、市長のところに陸上関係の表敬訪問が入っておりまして、そちらに立ち会う必要があるということで出掛けておりますので、スポーツ課からは補佐が代理で出席しております。よろしくお願いします。

それでは、議題に先立ち、教育長報告を私からさせていただきますので、２ページ、３ページ、４ページを御覧ください。

まず、上から、５月１日に、田原市教職員会総会が行われました。昔、自分が現役の頃は、田原中学、それから福江中学の両校を会場として、みんなで顔を合わせてやっていたのですけれども、コロナ以降、集まるのが非常に危惧されたというところがありますので、その辺りからそれぞれの研究部の部長校のところに集まって、市長、それから自分の思いはビデオメッセージで伝えるということになりましたので、今年度もそうしております。

それから５月８日ですけれども、後ほど小学校への寄附ということでまた出てきますが、伊良湖岬小学校に創価学会様から図書の寄附３００冊。それから、ここから５年間にわたってさらに２０冊ずつ、計４００冊の寄附がありました。タブレットの時代、これはどうかというような案も創価学会さんとしては考えられたそうですが、やはり文字、つまりアナログ的なものも必要で、特に小学校については、やはり活字を読むというのは、非常に大事なことだと。その点については、自分も本当にそのとおりと思っておりますので、ありがたくそれを受け入れております。

それから、５月１３日になりますが、第２回の田原市小中学校長会議が開かれ、その会議で使った資料が別紙ということで添付してあります。それで、ここについて自分が特に学校長にお願いしたことは、やはり、教員として働き方改革だとか、いろいろあるのですけれども、その前にまず授業力をつけるというのは、とても大事だぞと。そ

のためには、現職研修が必要になるので、当然、校長、教頭は指導に入るのだけれども、その中心となるのは、教務主任という役職ですので、それを前面に出してしっかりこれを積んでほしいと。あわせて、それぞれ１つの学校で現職研修をやっても、やはり幅の広がりというのは、あまり期待できないものだから、中学校区を単位として、そういうのに取り組むと、より効果があるのではないか。それから、小中の連携も図れるのではないか。そのようにお願いをしております。

それから、一番下に教職員の不祥事というのがあるわけですが、幸い田原市では、これは今のところ確認をされていないわけですけれども、今、ちょうど髙崎委員との雑談の中で、オンラインゲームというのが出てきたのですが、実は教職員の中にも、オンラインゲームを楽しむ者は、自分は少なからずいるかなと思っております。それで、警察の方からちょっと注意喚起があったのは、オンラインゲームで課金があるような、そんなゲームをやっている中で、知らず知らずのうちに、オンラインカジノの方に誘導されていってしまう。自分はやっているつもりはないのだけれども、そちらに誘い込まれてしまうような、そんなことがあるので、教職員には十分、注意喚起を図ってほしいというのが教職員会からありました。

よくプロ野球選手で、こういうのをやって捕まったというのがあるのですけれども、教職員もこれに手を出してしまうと、どうしても懲戒免職という可能性まで出てきますので、これについては学校で、私生活ではあるのだけれども、子どもたちの前に立つ教員であるという、そういう自覚を持って、十分な注意を図ってもらいたい、そういう指示は出しました。

それから、５月１３日の後半、それから１４、１５と、高知県の土佐で、全国都市教育長協議会がありましたので、それに参加をしてまいりました。ここでは、様々な研修も行われて、自分は教育行政というのテーマに出席したわけですけれども、そこでは、主にコミュニティスクール。これの重要性と、コミュニティスクールをやる上での注意点、この注意点というのは、コミュニティスクールはやればいいのではなくて、やはりそれを長く続けて、その良さを、学校に還元、あるいは地域に還元しなければいけないということで、やるからには、毎年しっかり反省と、そして改良を加えながら進むことが大事ですよと、そういうふうにいっておりました。

それからもう１つ、実は統廃合、また後で出てくるのですけれども、統廃合についての話もありました。ただ、担当官が変わると、あれだけ話し方が変わるのかなと自分は思っていたのですけれども、去年の文科省の担当官は、やはり適正規模という、つまり１２学級から１８学級、これを守るのが大事だと、かなり力説されておられたのですが、今年の担当官は、それは抑えて、特に小学校については、地域

コミュニティの核であるという、このことはやはり忘れてはいけない。それだから、統廃合を進めるに当たっても、きちんと地域の、あるいは学校の保護者のそれぞれの思いをしっかり踏まえながら進むことが大事だと、今年の担当官はそう言っておられましたので、なるほどと聞いておりました。

それから次のページに行きますけれども、５月１８日から校長面談というのを始めました。これは何をするものかというと、教職員評価というのが、実は校長にもあります。校長の評価は、主に学校運営に関わることなのですけれども、それを校長と対面で面談をしながらも、ここのところは具体的にはこういうことかというのを確認しながら実施しました。あわせて、現在、校長の目から見て、心配される教員はいないか。体調を崩す教員はいないか。そういうことを確認しましたが、今のところ、校長のところでは、そういうのはいない。だから、それぞれしっかり、特に新任を２０人受け入れておりますが、新任教員にも目を配りながら頑張っていきますということですので、まだ現在、１２校が終わっただけですけれども、しっかりと残りの学校についても面談をして、これからの学校運営に当たらせたいと思います。

あわせて、５月１８日に、第１回大草小・神戸小の統合準備委員会を開催しました。これも後ほど出てきますが、このような形で進めさせていただくというのは、委員の皆様には、既に御伝達、お伝えしたとおりなのですけれども、こちらも動き始めております。

それから、５月２０日に、愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会議というのが、これは名古屋の県庁で行われまして、自分はその委員ですので出席しております。県の方では、県内の公立高校全体で３，０００人を超える欠員が出たというのは、非常に重く受け止めておりますけれども、自分はその中で、県というのは、今後、高校をどうしていきたいのかというビジョンを持っているのかと言ったのですが、そういうことに対して、県教委は、文部科学省も基本的に、公立高校をどうするのかというのは、非常に重く受け止めているもので、国との連携の上、今後しっかり対応していきますという、ちょっとはぐらかされたような回答であったので、今後のありかたを注視したいと思います。

それから、同日、三河教育研究会の定期総会と教育講演会というのがありまして、そこでノンフィクション作家の石井光太先生が、「スマホネイティブ世代が抱える生きづらさ」という、そういう講演内容でお話しをされました。これは何かというと、結局、今は小学校１年生でもタブレットを持っている。さらにそこから前に進んで、保育園だとか、幼児のときから、ＳＮＳだとかＹｏｕＴｕｂｅだとか、そういう画面を見せながら、子育てをする親が増えていると。これを一

体、今はどう考えるべきかというそこから入りました。タブレットが悪いわけではないのですけれども、やはりタブレットはあちらから情報がやってきます。それに対して、例えば赤ちゃんだとか、幼児があああだこうだ言っても、内容は変わりません。ひたすら一方的に情報が来るばかり。だから、そういう子育てを続けていくと、やはりコミュニケーションに何らかの障害があるような、そんな子どもに育ってしまう。これは決して日本にとっていいことではない。特に、国語力というのは、この石井先生も非常に大事だというふうにおっしゃっているのですけれども、やはりものを考えるには、国語力が必要。つまり、深くものを考えれば考えるほど、語彙が必要だし、深い意味がちゃんと分かっている。それから、文章間というか行間を読むという、そういう経験も、やはりタブレットではなくて、活字の中から、それはやるべきだと力説をされておりました。自分もなるほどなと思って帰ってまいりました。

ということで、本日、定例会議５回目があります。それで運動会も予定どおり進んでいて、実は先週の土曜日までに１２校終わっていて、昨日４校の予定だったのですけれども雨でできず、今日順延したところが２校行ったというので、運動場がすごく、いいのだなあと、ちょっと自分は感心しましたけれども、平日にやる学校もちょっとずつですが増えております。それはいいところもあれば、悪いところもあるわけですけれども、また委員の皆様には、まだ残りの学校、自分も含めて視察をしていただく必要がありますので、またよろしくお願いをいたします。

以上で、教育長報告とさせていただきますけれども、今、自分の言ったことについて、何か聞いておきたいこと、御質問等あったらお願いします。

委員　（質疑なし）

教育長　よろしいですかね。

それでは、御質問もないようですので、教育長報告を終わらせていただきます。

教育長　では、これより議題に入ります。

初めに議案第１５号　市議会提出案件　田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例に対する意見についてを議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

生涯学習課長　生涯学習課でございます。それでは、議案第１５号　市議会提出案件　田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例に対する意見について。

田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について、意見を求める。令和８年５月２２日提出、教育長名でございます。

提案理由でございますが、野田市民館の建替えによる設置場所の変更に伴い、所要の改正を行うものでございます。

それでは、内容について御説明申し上げますので、２ページにお進みいただき、新旧対照表を御覧ください。左側の欄が現行、右側の欄が改正後（案）となっております。第２条は、設置に関する規定でございまして、同条第９号野田市民館の設置場所を、田原市野田町籠田６６番地から田原市野田町籠田６５番地１に改正するものでございます。附則でございますが、この条例の施行期日を規則で定める日とするものでございます。よろしくお願いいたします。

教育長

事務局の説明が終わりましたけれども、何か御質問等はございますか。よろしいですかね。

御質問等もないようですので、お諮りをいたします。

議案第１５号　市議会提出案件　田原市市民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例に対する意見については、原案どおり可決することに御異議ございませんか。

委員

（異議なし）

教育長

ありがとうございます。では、御異議ないようですので、議案第１５号につきましては、原案どおり可決をいたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思います。初めに、教育委員の皆様方の連絡報告事項を順次、お願いをいたします。まず、田中智和委員からよろしくお願いします。

田中智和委員

失礼します。私から４点、報告させていただきます。

まず、５月１４日に神戸小学校の運動会に参加させていただきました。赤白対抗が今年から復活しまして、今、２年生だけが１クラスなのですが、それを２クラスに分けて、赤白対抗ということで、久々の赤白対抗で盛り上がりが戻ってきた感じがしました。そして、神戸小といえばソーラン節が５、６年生であるのですが、これはとても素晴らしくて、他の委員さんにも見ていただきたいのですが、私が現役の間はすいません、プライベートで見に行っていただけたらと思います。

そして５月１６日に大草小学校の運動会に参加させていただきました。コース紹介、選手の紹介を、１人１人、名前を呼んで紹介して、子どもたちが勝手にコースを変わって、そのままアナウンスで読むと

ころを、それを見ている他の先生が遠くから見て、あの子だよ、この子だよと言えるぐらいの距離の近さというか、子どもたちが遠目からでも、あの子は何々ちゃんだ、何々君だというのが分かる、そんな場面が何度もあって、すごいアットホームで素敵だなと思いました。そして、大草小学校も赤白対抗ありでしたが、そのアットホームならではの、両方応援するみたいな感じの雰囲気でした。

そして、その後、続いて、東部小学校の運動会に参加させていただきました。東部小学校も赤白対抗があるのですが、短距離走で１、２、３位までが点数が細かくつくので、ゴール地点で、先生が１、２、３着、見る先生が２人と、それを記録する係で２人いて、４人で順位を見て、それでさらに高学年の子がその子たちを振り分けて、ものすごく統率されている、きびきびした運動会を見せていただきました。そして、同じ日に行った、大草小学校の方は、玉入れでパン、となってからも何個か入るのですけれども、大草小学校だとそのままで、東部小学校は入った後から入った数を先生が数えていて出して、球も空けるところは、観客から、いや、子どもたちしか見えないように隠して、もう最後に数え終わるまで分からないという徹底ぶりの、本格的な東部小学校の運動会で、どちらもいいところがあるなと、同じ日でしたので、余計に感じました。

そして、５月２１日、昨日の夕方、引き渡し訓練で、長男の引き渡し訓練に参加しまして、体育館の方で子どもたちが学年ごとに待っていて、先生に子どもの名前を言って、子どもに誰が迎えに来ましたかという確認をしてもらって、そこで合わせて帰っていくというシステムで、先生たちも挨拶もすごい。保護者の方への挨拶もすごくて、気持ちよく引き渡し訓練をしていただきました。

そして、これはちょっとプライベートも挟んでいますが、５月１７日にひまわり迷路の種蒔きを、今年は東部小学校と六連小学校と大草小学校にも案内をいたしまして、ちょっと直前だったもので、参加率が悪かったのですが、保護者も含めて総勢５８名で、種蒔きを行いました。その日には神戸小学校の３年生の担任の先生が２名と六連小学校からも、過去の神戸小学校から行った六連小学校の先生が１人、プライベートで来ていただいて、ちょっと働き方改革的には申し訳なかったなと思っているのですが、こちらもとてもうれしく思いました。

そして、迷路づくりの方は、神戸小学校の総合の授業の方で、３年生で一緒にやらせていただくのですが、東部小学校と六連小学校の先生も協力していただく予定で、大草小学校はどうしても時間が取れないということで、断られてしまったのですが、完成したら、東中区域にはぜひみんなで遊びに来て、同じ地区だよというのをアピールして、中学校に行ったときに、あのとき一緒にやったよねみたいな話が少しでもできればなと思っています。

以上です。

教育長

ありがとうございました。では次、田中早苗委員、よろしくお願いします。

田中早苗委員

お願いします。私からは１件です。

５月１６日に亀山小学校校区運動会へ行ってきました。全校児童が３６名という、市内で一番小さな小学校です。種目数は１４あったのですが、保育園や消防団、各種団体の競技があり、学校児童の競技というのは９競技ありました。１人１人が主役のような、地域の方の参加がないと、児童は出ずっ張りになってしまうので、地域の方も楽しみつつ、校区全体で楽しんでいるという感じがしました。勝敗だけが重要ではなく、紅白のチームで協力して、とても仲良く元気でわいわいとした感じで行っておりました。中学生と高校生になった卒業生も参加していて、部活動がなくなったことによって、音楽の部活もなくなってしまいましたので、それに代わって中高生がファンファーレと校歌の演奏をしてくれて、さらには中学生も参加する競技もありまして、校区全体で盛り上げようという感じもあり、小学校側も歓迎していて、お互いに楽しもうという感じがしました。

短距離走では、スタート前に選手名のアナウンスがあって、そういうのは子どももですし、保護者も地域の方も、近所のあの子だと分かったりして、うれしいのではないかと思います。校長先生によりますと、普段大きな声が出せない子も、走るのが苦手な子も、返事は頑張ろうということで、大きな返事ばかりでしたので、校長先生もよっしゃよっしゃと言いながら、全員を応援している感じでした。最終競技のリレーの後に、勝ったチームは、トラックを半周、行進して、そのときも選手名の読み上げがあって、マイクを通して自分の名前を呼ばれるというのは、日常にあまりないですので、誇らしくて自己肯定感が育まれていいなと思いました。運動嫌いな子も楽しめる運動会だなと思いました。

２１日に中山小学校に行く予定でしたが、月曜日に順延になりましたので、また次回、報告します。

以上です。

教育長

ありがとうございました。では、髙崎委員、よろしくお願いします。

髙崎委員

失礼いたします。私からは５月８日、愛知県市町村教育委員会連合会第１回理事会に、理事として参加をさせていただきました。１６日、野田小学校運動会。そして現在、職場体験を職場で受け入れてい

るということ。そして、４点目は、前回、田中さんから問題提起のあった子宮頸がんワクチンについて、専門家の話を伺ったので、少し御紹介させてください。

まず、最初の長久手市の代表者会議、これは大変熱心で素晴らしいと感じました。私は車で行ったのですけれども、遠い方から２番目ぐらいでした。それでちょっと問題提起として、会議が終わったときに、いろいろ考えるところがあったのですが、周囲の方から、来た意味に対しての問題提起というのがありました。先ほどのゲームのお話と一緒で、せっかく集まるけれども、一方的に、全て開催地の事務局からのお話で、それを聞いてそのまま帰るという。そしてこれは施設の問題で仕方がないのですけれども、建物が３つあったものですから、遠方からいらっしゃった方で、建物が全然、分からなくて遅れられた方もいたということもありました。今の時代コロナになってから、自己紹介があったわけでもないものですから、Ｚｏｏｍで十分ではないかなということは、他の役員から出ていた話でございます。

次に、野田小学校の運動会について。昔からの本当に、大切なことを大切にする部分、園児も一緒に楽しむ、そして、今の要素をたくさん取り入れられた素晴らしい運動会でした。素朴な皆さんと先生方の熱心さ、そして男女関係なく、主体的な学びということを感じることができました。例えば、野田小学校ならではだなと思ったのは、私は私、ということを大事にしている学校。そしてアナウンスをしている子に対して、私が教頭先生に冗談で言ったのですけれども、これは、野田小学校の古舘伊知郎さんですねと。本当にマイク持ったら、もうノリノリで歌いながら、そのことに対してみんなが楽しむという雰囲気があって、その子の個性をとても尊重する。そして退職された先生がしっかりと横につき、素晴らしい運動会だったなと思います。そして、教頭先生がおっしゃっていた、野田小学校には、始業式で必ず話す言葉があるそうです。その中に「頑張ろう」と「楽しもう」という言葉があります。頑張ろうというのは、今の時代に頑張るという言葉って違うよねっていうことが、時代として言われていると思います。ですが、やはり大事な言葉だなということ。そして、この楽しもうということを、校訓で実践しているということ。とても素晴らしいなと思いました。あと、テントがあり、熱中症対策に十分配慮されていました。校長先生と教頭先生が一番気にされていたのは、タイムマネジメントについてです。そして、熱中症予防のため、必ず水分を摂らせ、休憩という、これが後ろから見ても、そしてコミュニティリーダーの鵜飼先生も御一緒され、皆さんでこの楽しい空間をお子さんたちのためにされる。これは、本当に先生方の目に見えない配慮というものをすごく感じました。あと一点、校務主任の先生で、５０歳ぐらいの先生が、全体で指揮を執っておられて、暑い中、一生懸命体を動か

され、生徒さんたちと頑張っていらっしゃって、素晴らしい運動会でした。

次に、職場体験について。私、当社はミニコミ誌があるので、生徒さんと一緒に中学校にお邪魔させていただき、先生の意見を伺ってきました。その中で出てきた言葉、校長先生のモットーである、熱く、とことん熱く、スマイル田原という言葉があるそうです。ここでも私、同じことを思ったのですが、熱くとか、とことん熱くって、私たちが学生時代に生きていた言葉だと思います。これを今の生徒さんたちにしっかりとお伝えし、先ほど教育長がおっしゃったＳＮＳとか子育てで、私も小さいお子さんのお母様を拝見してみて、タブレットの画面をお子さんに見せると、お子さんはずっと集中していておとなしくなります。これは、一番大事なコミュニケーション能力、そして、今回もミニコミ誌で、先ほど教育長のおっしゃった行間を読むというところで、子どもの個性を尊重しつつ、私も一緒に考えさせていただいたのですけれども、一番難しいなと思ったのは、行間がなく、全部一遍に文章を打ってくれて、段落とか、行間とか、それから表現の仕方とか。これは中学生とその子の個性に合わせて構成をしていくことの難しさを、私自身も学ばせていただいたので、今、これが社会問題になっていると思います。日本は今、タブレット教育を一生懸命行っていると思いますが、私の認識不足だったら申し訳ないのですが、海外ではそこの弊害についてと、活字文化について見直しているということですので、やはり先生方は重々承知していらっしゃると思いますが、優れたタブレット教育の中で、活字文化の重要性も、本当に意識して、また素晴らしい図書館長さんが田原にはいらっしゃいますので、館長は市外でもすごく有名だと伺っていますので、ぜひ活字文化の重要性を教育現場でも先生方が意識してくださると、大変ありがたく思っています。

次に、子宮頸がんワクチンについてですが、私、健診の結果で女医さんのところに行ってきました。そこの病院に行くと、本当に田原はいいなと。いろいろな話をしてくださるのですが、結論から言うと、やはり先生は学会とか、たくさんの症例をされていて、これはデータにした方が良いということです。そして、先生が今、先ほどの教育長がおっしゃったことと一緒で、一方的にいろいろな情報が流れてきていて、その情報の中から、親御さん、お子さんが正しい情報をきちんと把握することの重要性について、私たち教育委員は、やはり外側からサポートする必要があるのだなということを改めて思いました。そして、これは本当にデータを取って、こうだからこうだよという、だからこの子宮頸がんワクチンを打った方がいいのだよということを教えていただきました。ですが、先生と意見が一致したのは、啓蒙活動についてです。これは、健診を受けた方がいいということに対して、

やはり情報が信じられやすい。そして、先生は豊橋なので、教育委員会にそのようなお話をされたり、医師会にそのような話をすると、教育現場での時間が足りないということです。

私が思いましたのは、読み聞かせとか楽しい場所が、たくさんあります。そういった中で、１年に１回でもいいので、専門家、保健師さん、看護師さん、そういった方も動員して、１０分でもいいので、なぜ大切なのかということを、特に大切な、若い方への啓蒙活動があるといいなと感じました。ハードルの高い話だということも、私自身は承知しておりますけれども、改めてこの場で申し上げさせていただきます。

長くなりましたが、以上です。

教育長

ありがとうございました。では、山本委員、よろしくお願いします。

山本委員

まず、この前のＮＨＫのＢＳで、縄文ミステリーサミットとかいう番組を見ていたら、その中で学者さんが、保美貝塚の、例のマッチョな上腕二頭筋の人骨と、また吉胡貝塚のことも触れられていて、やはりあれはすごいのだなと。田原にこんな素晴らしい教材があるのだなということを改めて思いました。

私は５月１６日に高松小学校と若戸小学校、それから、今日、伊良湖岬小学校と赤羽根小学校の運動会を参観してきました。赤羽根小学校の方は、さすがに昨日の雨の影響で、１１時半からの開催となっていました。運動会が、半日の日程に多くの学校がなってから久しいのですけれども、私は初めて参観しました。昔の運動会とだいぶイメージが変わっていて、たまたま見た学校４校とも小規模校であったので、とてもアットホームな感じでいい運動会だなということを感じました。高松小学校は、ラジオ体操がウォーミングダンスというものに変わっているのをはじめ、本当に型にはまってない、斬新な運動会という感じが、短い間でしたけれども感じられました。

昔の、先生が壇上に上がって、子どもに指示出してというイメージではなくて、本当に先生らが子どもに託しているなという、そういうのが伝わってきて、子どもも本当にうれしそうにやっているのですよね。それが印象に残りました。それから、今年だけの企画だとは言っておられましたが、パラスポーツ財団が１カ月間、バスケットボール用の車椅子を貸与してくれたらしいのですね。それで、それを使って、全校でリレーをやろうということで、そういうプログラムをやっていました。低学年の子でそんなことできるのかなと思いましたけれども、本当に結構盛り上がっていて、とてもいい企画だったなというように思いました。今、高松小学校のことを言ったのですけれども、

どの学校も運動会が子どもの目線に立った進化をしていて、子どものやらされ感というのがすごく減っていて、スポーツフェスティバルみたいな感じになっているなと感じました。今後も学校の先生方が大いに工夫されて、そういう新しいスタイルの運動会をつくっていってほしいなということを感じました。

教育長

ありがとうございました。それではまた委員の皆様には、積極的な情報収集をお願いします。また、運動会については、今後、校長は褒めておきましたけれども、校長の指導方針のもと、そういう運動会になっていると思いますので、ぜひ委員の皆様も教育委員に褒められるというのは、校長もうれしいものですので、褒めてあげてください。
是住館長さん、活字について何か一言。

図書館長

そうですね、電子も紙も使っていくというのが文部科学省も示していますので、両方大事にやっていければと。

教育長

天野館長さん、縄文の話が出ましたけれども。

文化財課長

吉胡の方、夏休み前の特別体験をまたやっておりますので、ぜひ委員の皆さんも見ていただいて、紹介をいろいろしていただければありがたいと思います。

教育長

というわけで、市内には本当に誇るべきものがたくさんありますので、ぜひ教育委員会として、自分の方はもちろん校長会に出てそういう話をしますが、委員の皆様にも地区の中でそういうのをお知らせしていただけたらありがたいと思いますので、よろしくお願いをします。
それでは、次に、報告事項の（２）大草小学校・神戸小学校統合準備委員会について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

教育総務課の山田です。よろしくお願いいたします。
それでは、報告事項の（２）大草小学校・神戸小学校統合準備委員会について御説明させていただきます。ページ数で言いますと８ページになります。こちらにつきましては、教育長さんのからも報告がございましたとおり、５月１８日午後７時から開催されました、第１回の大草小学校・神戸小学校統合準備委員会でございます。この次第をまず添付させてもらっております。
まず、開会に始まりまして、挨拶では教育長さんの方から、統合についての思い等の御挨拶をいただきました。そして各委員の自己紹介、そして４番、５番ですが、大草小学校・神戸小学校再編整備方針

について、これは前回の会議で、教育委員の皆さんに議案第１４号として御承認いただいたものでございます。そして、５番目が大草小学校・神戸小学校統合準備委員会設置要綱について説明いたしました。

そして、６番でございます。協議事項等についてということで、（1）から（6）について、それぞれ協議をさせていただいております。９ページには、統合準備委員会の配席図がございます。次ページが準備委員会の委員名簿でございます。そして、１１ページでございます。これが、先ほど先に言ってしまいましたが、第４回教育委員定例会の議案第１４号で御承認いただいた大草小学校・神戸小学校再編整備方針の写しでございます。

続いて、１２ページになりますが、大草小学校・神戸小学校統合準備委員会設置要項でございます。少し説明させてもらいますと、第１条にございますとおり、田原市教育委員会が定めました、大草小学校・神戸小学校再編方針に基づきまして、大草小学校の神戸小学校への統合を円滑に行うために必要な準備検討及び調整を図るため、設置したものでございます。

所掌事務といたしましては、第２条でございます。教育課程、事前交流事業、学校行事に関すること、通学体制に関すること、ＰＴＡ組織の運営に関すること、式典事業に関すること、そのほか、統合に必要な事項としております。

そして、第３条、第４条で、組織と委員の任期につきましては、委員は３０人以内をもって組織することとしており、任期は令和１０年３月３１日までとしております。

そして、第５条、第６条では、会議は委員長及び副委員長を置くこと及び委員長が会議の議長となることとしております。

また、第７条では、細部の検討のため、専門部会を設置することができるとしております。

最後に、第８条、委員会の庶務は、教育委員会、教育総務課が担当いたします。

以上が、設置要綱の説明となります。

続きまして、１４ページでございます。先ほど説明しました統合準備委員会の専門部会の設置についてでございますが、大草小学校と神戸小学校の統合準備委員会設置要綱第７条に規定しております専門部会の設置運営に関し、必要な事項を定めております。専門部会は、協議した内容を取りまとめ、必要に応じて、統合準備委員会へ諮るものとし、協議の内容によっては、統合準備委員会へ報告することとしております。そして、専門部会の名称及び検討事項は、次のとおりとなっております。部会は総務地域安全部会、そして学校運営ＰＴＡ部会としております。１つ目の総務地域安全部会での主な検討事項等につきましては、総務に関する事項、１から５までございます。そして、

２つ目、地域安全に関すること、１から６まで。御覧のとおりの内容について検討をしてまいります。そして、２つ目の学校運営ＰＴＡ部会では、１つ目として、学校運営に関する事項、１から７まで。そして２つ目のＰＴＡに関する事項、１から４まで。御覧のとおりの内容を検討してまいります。

続きまして、１５ページには総務地域安全部会の名簿でございます。そして１６ページでございます。学校運営・ＰＴＡ部会の名簿になっております。

そして、１７ページでございます。こちらは、大草小学校・神戸小学校統合準備委員会の部会概要案でございますが、各部会は令和８年度は６月、そして８月と９月、そして１２月で、令和９年度は４月、６月と９月の各５回程度を予定しております。御覧の内容について、あとは検討していくものでございます。

続きまして、１８ページでございます。こちらは、大草小学校・神戸小学校統合準備委員会のスケジュール案でございますが、令和８年度に統合準備委員会を５回、５月は１８日に開催しておりますので、あと４回開催する予定となっております。そして、各部会はそれぞれ３回程度の開催を予定しております。令和９年度につきましても、前年度並みの委員会、そして部会を開催する予定となっているところでございます。

説明については以上となります。

教育長

事務局から説明がありましたけれども、これに対して何か御質問等ございます。はい、田中早苗委員、よろしくお願いします。

田中早苗委員

関係あるのかないのか分からないのですけれども、清田校区に住む５０歳の方に、この統合についてのアンケートが来たそうなのです。そのアンケートは、市内の５０代、６０代の中から無作為に選ばれたという一文があったらしいのですけれども、その校区外の大草・神戸小の校区外にアンケートをとるというのは、今後もその校区の統合についてという意味合いを兼ねて出したのか、深い意味はないのか、分かりましたら教えてほしいです。

教育総務課長

そのアンケートにつきましては、この統合準備委員会のアンケートではなく、今、田原市では「学校未来創造計画」という計画、令和元年に策定したものですが、これの見直しを今年度、実施するにあたりまして、各小学校の保護者さん、そして未就学児をお持ちの保護者さん、そして、今おっしゃられた５０代、６０代の各校区の方々を無作為抽出いたしまして、アンケートを実施したものでございます。

田中早苗委員	ありがとうございます。
教育長	よろしかったでしょうか。はい、どうぞ。
教育総務課長補佐	補足で、失礼いたします。今回のアンケートは、田中早苗委員がおっしゃられるような、大草の統合に関してのアンケートではございません。わかりづらく申し訳ありません。
田中早苗委員	ではないのですか。
教育総務課長補佐	ではないです。本当に、子どもの数が、大草に限らず市内全域で今後かなり激減するということが、既に見えておりまして、そういった状況を踏まえて、学校未来創造計画は、今後の市内全域の小中学校の在り方を決めていくという、そこを計画していくものになります。 今回は、それぞれの地域の方に、それぞれの地域の小学校についての御意見をいただくアンケートという内容になっております。
田中早苗委員	詳しくは聞いてなかったもので、ただその大草小と神戸小という単語が出たので、なんで清田校区なのにと思ったらしくて。
教育総務課長補佐	設問の中に、一例として、大草小と神戸小がこういう状況で、今後、このように動いていきます。という内容を参考として記載しておりましたので、混乱を招いたかもしれず、申し訳ありません。 こういったこともあるけれども、このアンケートが届いたあなたの地域の小学校の今後のあり方について、あなたはどう思われますかという、そういった設問でございましたので、御了承ください。
田中早苗委員	ありがとうございます。他人事ではないですからね。
教育総務課長補佐	そうですね。
田中早苗委員	ありがとうございました。
教育長	うちの家内のところにも来ておりました。よく読めば、今、事務局が説明したとおりですし、ただ、中日新聞の５月２０日版だったのか、三河版にかなり大きく、さすがにこちらも報道されるとは思わなかったのですけれども、そのインパクトが強いので、どうしてもそれと結び付けてしまうのは仕方ないかなと。 ですので、聞かれた場合には、今、事務局が説明したように、その個々の結局、学校を対象として、そういうことをやっているわけではないですと。それで、市の教育委員会の姿勢は、あくまでこういうよ

うな情報提供はしますけれども、その学校をどうするかというのは、きちんとコミュニティの考えを聞いていきますよと。

今回の大草小の場合は、大草コミュニティからこちらの方に依頼がありました。この前提があって初めて動くものですので、その辺り、市教委が頭ごなしに統合を進めるというのは絶対ありませんので、また、そういうふうに説明していただけるとありがたいなと思います。

そのほかございませんか。よろしいですかね。

ないようですので、次に報告事項の（３）第２０回アジア競技大会（２０２６／愛知・名古屋）について、事務局から報告をお願いします。

スポーツ課長補佐兼アジア大会係長

それでは、スポーツ課の私、アジア大会係、横田と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、まず、資料１９ページ目から見ていただければと思います。アジア競技大会について、全体概要となっております。大会期間が２０２６年9月１９日から１０月４日の１６日間で行われる予定となっております。実施競技は、４３競技となっております。競技会場は、愛知県名古屋市を中心とした５３会場。その１つに、田原市のサーフィン競技、赤羽根のロングビーチ、太平洋ロングビーチという表現ですけど、太平洋ロングビーチがあるということになります。

２０ページ見ていただきますと、サーフィン競技の内容が出ております。サーフィン競技は、東京の２０２０年のオリンピックで実施されて、アジア競技大会では、本大会で初めて採用されることとなっております。本大会、男女それぞれの優勝者が、２０２８年のロサンゼルスオリンピックの出場権を獲得できる、付与されるということになりますので、選手もそれ相応の選手が集まってくる、そのような大会になってまいります。熱い大会が繰り広げられるということになります。

公式練習期間は、２０２６年の9月２２日から２４日、競技の開催期間は、9月の２５日から２９日。２９日は予備日という形で、当然、波や天候によってということで、２９日は予備日となっております。競技会場は先ほど言いました大石海岸、太平洋ロングビーチ。参加選手は、男女各２４名となっております。競技時間は午前7時から午後5時までということですけれども、その日によって、波の状況によって変わるという形をとっております。

チケットを販売する初めての大会ということにもなりまして、通し券、そこの会場に入るのに、通し券として、１人５，０００円かかってまいります。２５日から２９日、実際には、２５、２６、２７、２８の４日間で大会が行われるのですけれども、そこに入るためにはいつ入っても５，０００円で全て見ることもできますというようなもの

になっております。ただ、席は用意していなくて、入って砂浜に座っていただく。今までのサーフィン競技の見方、観客ゾーン、観客エリアがあるというふうに思っていただければ、何となくイメージがわくかと思います。

先行販売が既に始まっておりまして、第１次第２次販売、既に終わって完売をしているという状況になっておりまして、通常販売に関しましては、６月の下旬から行っていくということになります。

２１ページを御覧ください。会場設営の関係等々、御説明をしていきたいと思います。事前の会場整備として、この６月の中旬、６月末まで、海岸管理者、三河港務所によりますけれども、海岸の流木の撤去設置が行われていきます。設営工事は、２０２６年７月の当初から９月上旬ということで、ユニットハウス、それとフェンスなどの仮設物の設置が行われてまいります。

観客輸送、駐車場ですけれども、赤羽根市民センター、それと給食センターが近くの駐車場になってまいります。ここから会場は徒歩で移動していただくというような形になっております。それと、赤羽根文化広場の臨時駐車場、それと三河田原駅からは、シャトルバスの方を動かしまして、会場まで来ていただくということになります。

次のページ、２２ページですけれども、サーフィン競技会場の交通規制図の方も出ております。少しそちらの方も見ていただきながらいくと、何となくイメージがわくかと思います。

交通規制の計画ですけれども、２０２６年９月２１日の月曜日、公式練習開始の前日から２９日の火曜日まで、この２２ページの地図で見ますと、赤色の部分、ここに関して交通規制がかかってまいります。基本的には関係車両以外入れない、市民の方も入らない、入れないという状況になってまいります。ＶＩＰ、選手そういう方々、本当に関係者だけが入ってくるという形を取りますので、交通規制を行っていくというように思っていただければと思います。

さらに、それに伴って警備態勢をとりまして、ロングビーチ北の信号交差点、赤羽根市民センターの信号交差点など、６カ所に警備員を配置していきます。夜間もその警備体制が一部、変わりますけれども、警備態勢があるというように思っていただければと思います。

地域の方の説明に入っておりまして、基本的には４２号よりも海側に、高松と赤東地域がありますので、そこの方々が、地域の暮らしに支障がないように、地域住民証を配布して、普通に車が入れる、通常のことは問題ないよう対応を取っていくということで、今、地域の説明に入っているところです。これが、サーフィン競技の内容になってまいります。

続いて、２３ページを御覧ください。田原市の関連事業としまして、１つ、田原区間の聖火リレーがございます。２０２６年８月２９

日の１１時頃と、もう時間の方が発表されておりまして、交通規制の時間というのも１０時２０分から１１時２２分の約１時間に交通規制がかかっていくということになり、通行止めをとるということになります。聖火リレー会場は、田原市街地ということで言っていますけれども、実際はララグランを出発して萱町の信号を左折して田原市役所まで、８人の聖火ランナーが走るというようなコースを考えています。ただ、組織委員会の方が、今後６月に発表していくということで、ここの内容に関しては取り扱いを注意してくださいというようなものになっておりますので、地域の説明とかそういうときには御説明に役立てていただければなというふうに思っております。

それと、２４ページ。最後です。田原市の関連事業、ほかにどのようなものがあるかということも、少しお伝えをさせてください。本日、アジア大会の応援給食の２日目がありまして、学校給食にシンガポールの日として、チキンライス等が出ております。その応援給食は年４回予定をしています。

それと、文化プログラムと書いてありますけれども、田原市の魅力を発信するために開会式、それとサーフィン競技会場で田原市のブースを設けるということも行ってまいります。

さらに、８月下旬、約１カ月前に、多くの市民の方に協力をしていただき、競技会場のビーチクリーンを行ってまいりたいというふうに考えております。

それと、アジアフレンドシップ事業というものがございます。アジアの各国地域との交流を推進するための賑わいを、市内にもつくっていこうというものでございまして、田原市街地、福江市街地、ララグラン、それとショップレイ辺りに少しサーフィン競技のときに人が集まれる場をつくっていこうというように思っております。あくまでも目的としては、アジアの方もみえるので、その交流を推進するための場所をつくるということで、賑わいを少し。合わせて、アジア競技大会の旗などで彩られている中、そのような場をつくるというふうに思っていただければと思います。

シティドレッシングと、その下書いてございますけれども、今言ったように、大会近くなればなるほど、市街地、それと、競技会場周辺には、のぼり等大会色に飾り付けていったり、フラグが並んだりということになっていく予定をしております。

それと１つ、学校観戦というものがございます。赤羽根地域の小中学校、高松、赤羽根、若戸、それと赤羽根中学校も、それと、太平洋側の小学校。六連小学校、神戸小学校、大草小学校、伊良湖岬小学校の児童生徒がサーフィン競技の観戦をするということを予定しています。これは、サーフィン競技が行われる金曜日と月曜日に、会場の方に子どもたちに来ていただいて、実際に１時間でも２時間でも応援し

	ていただこうということを考えているものでございます。なお、各小中学校に希望をとっておりまして、福江中学校の生徒は豊橋で行われるアジアパラの競技大会、ゴールボールを応援に行く。さらには、泉小学校の児童に関しましては、刈谷市で行われる車椅子ラグビーの方を応援に行くということで、希望があってそのようになっておりますので、多くの子どもたちが、サーフィン競技、アジア競技大会に見に行くという場も作られていくというように思っていただければと思います。 　地域説明等は、今後、こういう形で発信をしていくものですから、一度このような状況をお伝えしたいというものでございます。ありがとうございました。
教育長	ただいま事務局の説明がありましたけれども、何か御質問等ございますか。田中早苗委員、よろしくお願いします。
田中早苗委員	聖火リレーのお話あったのですけれども、田原市で公募していましたけれども、選考は終わりましたか。
スポーツ課長補佐兼 アジア大会係長	田原市の方では、多くの方にしっかりと受付をさせてもらいまして、２０人近くの申込みを受けています。その中で、田原市の方にある程度選考していただいて、組織委員会に推薦をするという形をとっています。ですので、聖火ランナーのうちの田原市分に関しては教育委員会、私どもの方から、今、推薦をしている状態ということになっています。あと、組織委員会、本体の方がスポンサーはじめ、関係者で何名か聖火ランナーを決めると、そういうものが合算して８人になるというふうに思っていただければと思います。市の方は推薦をしている状況となっています。
田中早苗委員	ありがとうございました。
教育長	よろしいですか。そのほかございますか。それでは、自分が質問していてはいけないのですけれども、３点ちょっとお聞きしますけれども、まずチケット販売について、第１次と第２次、完売したのは、非常にめでたいことです。自分もこれには協力しておるのですけれども、普通ならその勢いを持って、プレイガイド販売も行くべきだったろうなと、自分は素人目に考えるのですが、それをしなかった理由を、ちゃんと事務局から説明を受けたのかどうかが１点。それから２点目は、最後の方、アジアフレンドシップのいわゆるシティドレッシングですね。これは確かに、はっきり言って今やらなくていいのか。昨日の新城設楽の総合庁舎へ行きましたけれども、あそこには既にそ

の旗がザーッと表面飾ってありましたが、なんでうちがやるのにうちの会場ってないのか。２年前からの四角の大きな白い旗はあるけれども、全然ドレッシングがされていない、これで大丈夫かというのが１点。最後の１点は、競技場に近付くためには赤羽根文化会館から歩くと思うのですけれども、要はそこから歩くのは仕方がないとして、田原駅だとかそちらの方からバスが出ていますよね。それは一体、競技会場まで近付けるのか。その３点について、まずちょっと教えてください。

スポーツ課長補佐兼アジア大会係

まず、１点目から、チケットの関係から説明をさせていただきます。チケットの方ですけれども、なぜ今チケットピアはじめとする、プレイガイドで販売をしていないかということです。特に事務局、組織委員会の方から何の説明も受けていないというのが状況であります。ただ、このプレイガイドの販売というのは、基本的には、ＴＢＳはじめＣＢＣのプレイガイドとかテレビ放送がなされるものについては、テレビ局の関係で販売されているという状況があります。それと、チケットぴあの方に関しては、ある程度触れているもの、競技を見て選択をしているものということで、その中にはサーフィンは選ばれていませんでした。今、販売するものの中にはサーンは選ばれていなかったということになっております。その理由については、しっかり事務局や組織委員会のから報告を受けていないというのが、正直なところです。

教育長

要するに売らなくてもいいという、そういうことではない。

スポーツ課長補佐兼アジア大会係

そういうことではないとは思いますけれども、選ばれていなかったというのが、それも何の調整もなく、実際行う協議側が判断をしたというようになっています。それが１つです。それと、２点目は、シティドレッシングは今、すべきではないかと、当然そういう意見があるかと思います。言われるとおり、シティドレッシングは、７月１日からプロモーションタイム、積極的にＰＲをしていく。さらには、８月１日コアタイムより、派手に機運を高めていきましょうという形で、時期的にもおおよその目安ができています。私どもは、一応、その計画をつくって出しておるところなのですけれども、やはり今、言われたように、まだ何もない状態にはなっているものですから、少なからず今段階できること、競技会場、さらには太平洋ロングビーチの看板、それと、田原市役所の横断幕、懸垂幕、そういうものにはすぐ対応できるように、今、考えているところです。段階的に街中を彩っていくことをしていきますので、恥ずかしくないように、そこは盛り上げていきたいというように考えています。今、それとインクの問題と

かいろいろありますので、早めに対応していきたいというように思っています。
それと最後の３点目ですね。どこまでシャトルバスで乗れるかというような話なのですけれども、赤羽根文化広場、それと三河田原駅からバスの方は、２２の資料を見ていただきますと、ちょうど赤羽根の消防署から道を海沿いに降りていただいた突き当たり、今、先ほど話題に出た駐車場が整備された辺りまで、シャトルバスが行く形になります。そこからは、歩いていただく形になっています。実際には、車椅子の方とかも、そこまでしかいけないという形になります。ですので、少し競技会場までは、やはり歩いていただく必要があるというのが状況であります。

教育長

というわけで、結局はうちの事務局を責めているわけではないのだけれども、名古屋の方の事務局は、あまりに情報を出さなさ過ぎるというか、それは教育長会でも、もうはっきり言って指摘されているところであるので、いい加減にしてほしいというのが、いわゆる教育長会の総意です。特に宣伝については、あと残りどれだけ売らなければいけないのかというのは、まだ分からないのですけれども、売らなければ売らないで、結局、一番苦しむのは、多分、最後は田原市だと思うので、ぜひその辺りはしっかりとその苦境を、うちだけではないので、市内会場というか、東三河は東三河で統一して事務局に伝える必要があるかなと思いますので、よろしくお願いいたします。
それでは、そのほか御質問ございますか、アジア大会について。よろしいですかね。
では、次に、報告事項の（４）小学校への寄附について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

教育総務課からお願いします。ページ数は２５ページになります。
こちらに、令和８年度教育関係小中学校寄附一覧でございます。ナンバーで言いますと、２番目、３番目になります。まず寄附日でございますが、令和８年５月８日。寄附者につきましては、創価学会。寄附先としましては、伊良湖岬小学校。寄附の目的ですが、教育環境の向上、子どもの人格形成や心の育成、子どもたちの希望や成長の機会の提供、地域支援の一環及び活字文化、読書習慣の普及のため。寄附内容でございますが、図書３００冊、そして書架２架でございます。相当金額としましては８１万２０５円となっております。そして３番目でございます。寄附日は令和８年５月１５日。寄附者につきましては、令和８年赤羽根小学校厄年一同でございます。寄附先としましては、赤羽根小学校。寄附目的は教育活動の充実のため。そして、寄附の内容につきましては、図書３９冊、書架１架でございます。相当額

としてしましては、１５万円になっているところでございます。
　続きまして、次ページに、伊良湖岬小学校に送られた図書３００冊と書架でございます。そして次のページ、２７ページでございますが、こちらが赤羽根小学校に送られた図書３９冊と書架１架でございます。すみませんでした。お願いいたします。

教育長

　では、今の事務局の説明について、何か御質問等ございますか。よろしいですかね。
　新しい本というのは子どもにとって魅力的ですので、またぜひ学校は学校で、揃えていってほしいなと思います。
　では、御質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

　そのほか、事務局から何かございますか。

スポーツ課長補佐兼
アジア大会係長

　スポーツ課の方から１点すみません。失礼いたします。中部北陸実業団駅伝というものがございます。毎年１１月に開催をされておりまして、今年度も１１月８日に開催をするものとなっております。それにつきまして、少し御報告させていただければと思います。昨年１１月に、この主体となります日本実業団陸上競技連合の方が、従来の地方ブロック予選大会を、全国一元の統一予選会の方式に変更することを決定しています。ですので、今やっているこの中部北陸の実業団駅伝というのは、今年までという形になってまいります。田原市の開催は令和８年度大会で終了となっていきます。
　その後、全国一元の統一予選会の方式になる大会。その全国統一予選会を行うということが決まっておりまして、そちらの方を、田原市でできないかというような話を実はしているところがございます。この大会は簡単に言うと、ニューイヤー駅伝、１月１日に行われるニューイヤー駅伝の予選、唯一の統一予選大会というふうに思っていただければ。そこに全国から集まってきていただいた、勝ち上がった方が、ニューイヤー駅伝に参加できるということで、かなり大規模な大会に変わっていくということであります。実は、本日その関係で、うちのスポーツ課長と教育部長も含めて対応しているという状況になっておりまして、田原市で開催をしたいということで、その決定を受ける、受けないかということを、今やっているところであります。
　この後、６月３日に、その開催地の決定プレリリースがありますので、そこで、実際にはしっかりとした報告をされていく形となります。ですので、そこまでは田原市の方で、その統一予選が開催できるように、今、進めているけれどもという状況で、今、決まったか決まらないかというところでありますので、御承知おきを、報告をさせていただきたいと思います。

教育長	そういうのをうちで開催をしたいというような、そんな話で今、動いておりますが、今、言われたようにプレリリース前ですので、まずは委員の皆様だけのところで留めていただけたらありがたいなと思います。補佐、それでよろしいですか。
スポーツ課長補佐兼 アジア大会係長	はい、そうですね。よろしくお願いいたします。
教育長	また詳しく分かったら、即、教育委員会定例会でお伝えいたしますので、よろしくお願いします。 そのほか、事務所からはございますか。
教育総務課長	すみません。最後のページになります。次回の定例会等の予定の報告でございます。ページ数でいきますと、２８ページになります。 本日５月２２日の第５回定例会、その下が６月１７日、第６回定例会がございます。１３時３０分から６００会議室で行われる予定となっております。そして、７月２日木曜日でございますが、愛知県市町村教育委員会連合会、第６０回定期総会、そして研修会が１３時３０分から、日進マスプロ市民会館で行われます。出席者の予定につきましては、教育長、そして教育委員の皆様。そして、７月１７日金曜日になります。令和８年度第３０回三遠南信教育サミットでございます。時間につきましては、１３時から湯本ホテル阿智川、長野県下伊那郡阿智村でございます。出席の予定としましては、教育長、そして教育委員。そして、７月２２日、第７回定例会でございます。１５時３０分から政策会議室となっております。そして、教育関係イベントにつきましては、御覧のとおりとなっております。 以上でございます。
教育長	なかなか魅力的な長野県下伊那郡は、星がとてもきれいなところですが、すみません、自分が先に言っていてはいけませんが、これは後、補佐の大久保の方から案内等があるのですけれども、７月１７日はすみませんが、社会を明るくする運動と、私は重なっていまして、そこで挨拶しなければいけませんので、自分はこれには出られませんが、大久保の方から行程等について御相談がありますので、よろしくお願いします。 それからの教育関係イベントなのですけれども、明日は白谷で陸上競技大会がございます。それから、明後日は、文協まつりの市民茶会だとかそういうのもあって、それから天気が非常に心配ではありますけれども、田原凧合戦というのもあります。市長さんが出てくるものですので、また、ぜひその勇姿を見ていただけるとありがたいと。また、教育委員会とは直接関係ないのですが、崋山会のいわゆる基調講

	演等もありますので、そちらの方にも顔を出していただけたらありがたいと思いますので、よろしくお願いをいたします。 　それでは、委員の皆様からほかに何かございますか。よろしいですかね。事務局からもありますでしょうか。
教育総務課長	ございません。
教育長	それでは、以上で、本日の議事は全て終了をいたしました。御協力ありがとうございました。 　これをもちまして、田原市教育委員会第５回定例会を閉会といたします。お疲れ様でした。 　閉　　会　　午後２時４３分